

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象 5年生
2. 単元名 「わたしたちとメディア」(全5時間)
3. 単元で育成を目指す資質・能力

①知識及び技能	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。
②思考力,判断力,表現力等	文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
③学びに向かう力,人間性等	進んで筆者の意見と事実との関係をもとに説得力について考え、学習課題に沿って自分の考えを広げようとする。

4. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い	
「メディアの上手な使い手になる」ためにどうすればよいのだろうか。	
1	わたしたちとメディアとの関わりについて考えよう。
本文を読み、考えたことや感想を書き、共有する。(学びに向かう力,人間性等)	○メディアとどのように関わっていますか？ ○どのような考えをもちましたか？「確かに！」と思ったことや分かったことを書いてみよう。
筆者の意見とはいったい何だろう。	
2文章全体を三つのまとまりに分け、文章構造や要旨をつかむ。 (知識及び技能)(思考力,判断力,表現力等)	○この文はどのようなことが書かれているのかな。 ○話題が変わるところはどこなのか見つけてみよう。 ・それぞれの段落ごとに言いたいことを図にまとめていく。
3事例について表にして整理しながら読むことができる。 (思考力,判断力,表現力等)	○中の段落の仕組みはどうなっているのかな。 ・中の段落は事例→対応策でまとまっていることが読み取れるようにしていく。
4文章を読んで理解したことを基に、筆者の意見は何かを踏まえて自分の考えをまとめることができる。(思考力,判断力,表現力等)	○筆者の意見は何だろうか。 ○自分の考えをまとめてみよう。
5	考えたことを伝え合おう。
友達と考えを共有し、自分の考えを広げることができる。(学びに向かう力,人間性等)(知識及び技能)	○「メディアの上手な使い手になる」ためにはどうすればよいのだろうか？ ○自分の考えを友達に伝えよう。

材料A	材料B	材料C
本文の書かれたワークシート (グループに1枚)	本文の拡大コピー (全体で共有するため)	事例の写真もしくは絵を動かしながら 考えることのできるワークシート
想定される活動	想定される活動	想定される活動
教科書とは別で書き込むことができるのでキーワードを探したり、段落相互の関係性を考えたりする活動 「問いの文が2つある。」「東京スカイツリーのひみつとは説明文の種類が違う。」「中の段落には、事例があって対応策がある。」などと本文をしっかり読み込み、今までとの違いや関係性について読み取り、考えを深めることができるだろう。	グループで話し合ったことを共有する活動 全体で共有するために本文を示しながら説明することができる。「中1にはテレビについて、中2には新聞について・・・」と示すことで気付くことができるだろう。	事例の出てくる順番とその役割を理解するための活動 事例の出てくる順番を視覚的に理解し、その段落で説明したいことを読み取ることができるようにする。本文のキーワードを読み取ることができれば事例の並び替えをすることができるだろう。そのキーワードから段落の内容を読み取ることができるだろう。

### 対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

グループ(3人、3人、4人)(第2・3時間目、30分ずつ)

A:5段落からは「テレビ」について説明している。

B:4段落には問いの文がある。これは東京スカイツリーとは違うな。頭括型の説明文だ。

C:だから、1～4は、はじめじゃないかな？

B:そうかもね。ということは、中は5段落からだね。中もいくつかに分かれている気がするよ。

A:10からは「新聞」16からは「マスメディア」だな。

C:ということは、5～9が中1「テレビ」について、10～15は中2「新聞」16～22は中3「マスメディア」だろうね。あとは、終わりだからまとめだね。

A:そういうことか。3つのまとまりに分けることができたね。

B:次は、その中がどうなっているのかを考えていきたいね。

C:東京スカイツリーと同じような感じかな。

→3つのまとまりに分かれて、「中」がどうなっているのかを「東京スカイツリーのひみつ」と同じように考えを進めていくことができると予想される。

### 学習の成果(予想される子どものあらわれ)

#### ②思考・判断・表現

「『メディアの上手な使い手になる』ためにどうすればよいのだろうか。」に対して、

「メディアとは知らぬ間に関わっていて、いつの間にか受信者ではなくて発信者になる機会が増えていくだろう。いつの間にか立場が変わってしまうことの怖さに直面するが、便利なものだとして今まで以上に感じる事ができた。」

「今まで以上にメディアとの関わり方を慎重にしていきたいと思う。」

など、メディアについて今持っている知識にプラスして考えを深めることができるだろう。

「上手な使い手って難しいな。」とさらに感じる子もいると思われる。